

# マリレ情報よろず屋

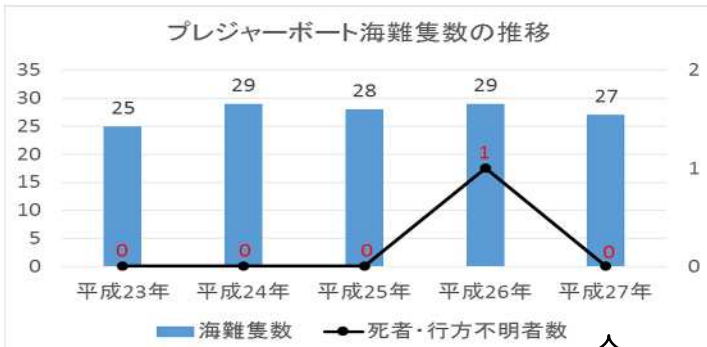
平成28年1月発行第40号  
第二管区海上保安本部  
マリンレジャー安全推進室

新年明けましておめでとうございます

マリンレジャーの事故防止のため、読みやすい情報紙の作成を心掛けておりますので、本年もご愛読よろしくお願い致します。

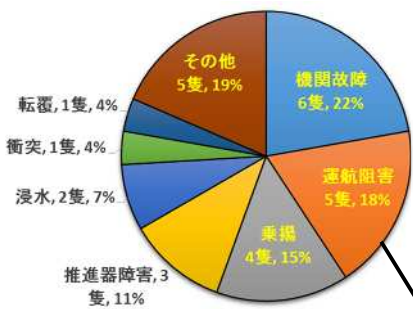


## 平成27年のプレジャーボート海難の発生状況（速報値）

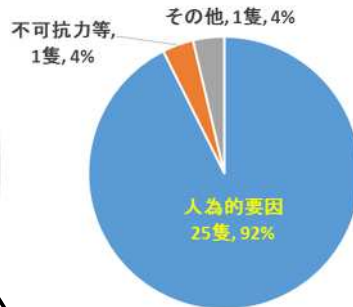


平成27年のプレジャーボートによる海難は27隻で、前年に比べると2隻減少し、死者・行方不明者はありませんでした。過去5年間の海難隻数の推移を見ると、平成23年以降ほぼ横ばい状態です。海難を種類別で見ると、機関故障が最も多く、次いで運航阻害が多く発生しました。

### 海難種類別



### 原因別

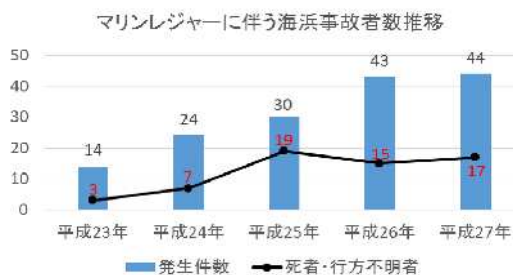


運航阻害：バッテリーの過放電等



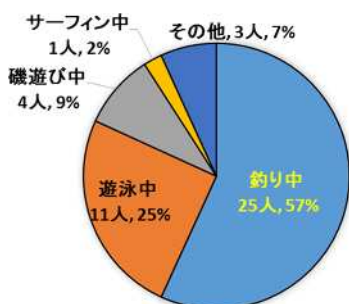
海難種類別	1	2	3	4	5	6
トップ3	機関故障	6隻	運航阻害	5隻	乗揚	4隻

## 平成27年のマリンレジャーに伴う海浜事故の発生状況（速報値）



平成27年のマリンレジャーに伴う海浜事故者数は44名で、死者・行方不明者は17名でした。前年と比べると事故者数は1名増加、死者・行方不明者は2名増加しました。過去5年で見ると、平成23年以降、事故者数、死者・行方不明者数とも増加傾向にあります。また、活動別に見ると、釣り中が最も多く全体の57パーセント、次いで遊泳中が25パーセントでした。

### 活動別事故者数



釣り中の海中転落事故が多発！

裏面の注意事項を確認してね！



活動別事故	1	2	3			
トップ3	釣り中	25人	遊泳中	11人	磯遊び中	4人

事件事例（運航阻害/宮城・仙台塩釜港沖）

プレジャーボートA丸はエンジンを停止し、パラシュートアンカーを使用して釣りをしていました。釣り場を変えるためエンジンを始動しようとしたが始動できず、漂流しました。A丸は水難救済会所属の船に曳航され帰港しました。



曳航救助されるプレジャーボートA丸

原因と対策

バッテリーの過放電が原因でした。A丸は電気機器を多く設置しており、普段はバッテリーの消耗をさけるため、エンジン停止時に電気機器の電源をオフにしていたが、この時はオフにするのを忘れていました。エンジン停止時は電気機器の使用を控えましょう。また、万一来に備え、予備バッテリーを積んでおくことも有効です。

使用量に注意！



バッテリー



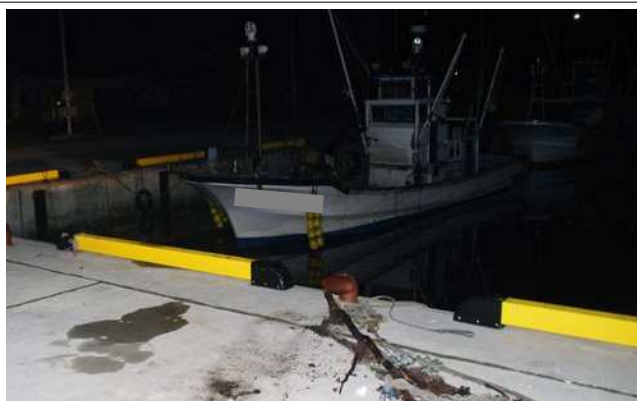
出港前にはバッテリーの点検も忘れないでね！

電圧・比重はOK？ マリレ情報よろず屋第35号も見てみてね！

平成27年12月 海浜事故情報

事件事例（海中転落/石巻・漁港内）

事故者は漁港内の岸壁で1人で釣りをしていたところ、仕掛けが係留船のロープに引っかかり、これを外そうとして誤って海中転落しました。事故者は付近にいた釣り人に救助され、救急車で病院に運ばれました。診察の結果低体温症で1日入院となりました。



原因と対策

テトラポットや磯場に比べると岸壁上は足場も良く安全に感じられますが、実際は車止め、係留ビット、ロープなどの障害物も多く存在し、事例の様に不自然な体勢をとると、誤って海中に転落するおそれがあります。今回は幸運にも付近の釣り人が助けてくれましたが、左記注意点を踏まえ、安全に釣りを楽しみましょう。

釣り中の注意点

- ライフジャケットの着用
- 携帯電話等連絡手段の確保
- 海のもしもは118版
- 複数名での行動
- 気象海象の早期把握



マリレ情報よろず屋

～バックナンバーはこちら～

MICSスマートフォン用サイト

（沿岸域情報提供システム）

